

武士の政治が始まる () 時代 #2 名前 ()

「幕府を開いた源頼朝」 教科書110~111 資料集56~57

めあて

《注目人物！源頼朝！！》



シール

源頼朝



シール

北条政子

源頼朝、大磯町に現れる！

1180年、10月16日に 六所神社（国府小近く） まで来ていた。
1180年、10月23日に相模の国府（今の国府新宿）で、論功行賞を行ったということが、『吾妻鏡』という歴史書の中に書いてあるのです。

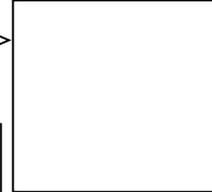
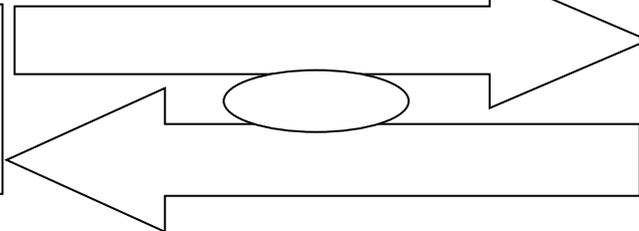
壇ノ浦の戦いで、() が活躍し、平氏をほろぼした。(その後、兄弟で対立し、義経はなくなった…) 平氏との戦いに勝った源頼朝には、多くの武士が() として従った。
頼朝は、有力な御家人を() や() に任命して全国各地に置き、() による政治の体制を整えていった。
1192年、頼朝は() に任命され、全国の武士を従える地位についた。
鎌倉を政治の中心として、頼朝が開いた幕府を() という。

【考える】源頼朝はどのようにして京都ではなく、鎌倉に幕府を開いたのでしょうか？

→

ご恩と奉公

(鎌倉幕府と御家人の関係) 資料集56ページの②をチェック！



《大事ポイント！》

源氏の将軍が3代でとだえると、将軍に代わり政治を行う執権という役職についた() が幕府の政治を進めた。そして、事件が起こる… 資料集57ページをチェック！
幕府の力は朝廷をしのぐようになり、武士の() や制度を整えて、ますます強くなった。